

開催のご案内



東都生協「未来につなぐ募金」助成 事前説明会を開催します！

説明会では、助成のしくみや申請方法を詳しくお伝えします♪



東都生協「未来につなぐ募金」

とは、組合員一人ひとりの想いを寄せ合い集めた募金を、東都生協の商品に換えて、地域で貧困問題に取り組む団体を応援するしくみです。組合員と地域との協力の力で地域社会に貢献し、誰もが健康で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す活動の一環として、フードバンクや子ども食堂などに取り組む団体（自主組織）を食の面から支援します。

2018年2月12日(月)より、東都生協「未来につなぐ募金」の助成団体募集を開始します。それに先立ち、貧困問題の解決や豊かな食生活の実現に向けて、東都生協商品の助成を受けて地域貢献したいと考えている組合員や活動団体を対象に、助成のしくみや申請方法などに関する事前説明会を開催します！

- ◆ 東都生協の食材を使って子ども食堂を始めたい…
- ◆ 助成のしくみについて、詳しく話を聞いてみたい！
- ◆ 助成を受けるために何を準備したらいいの？
など

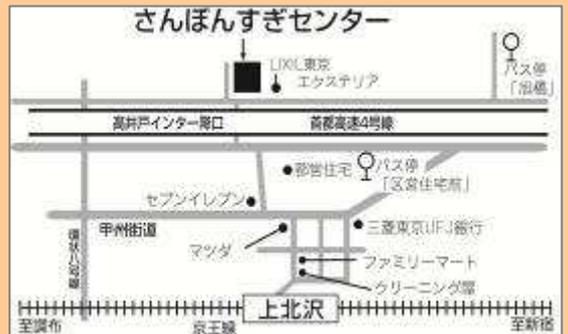
ご質問やご相談のある方は、ぜひお気軽に説明会へお越しください！

*参加の申込方法や留意点は裏面をご確認ください。組合員が所属している貧困問題に取り組む活動団体（自主組織）の方であれば組合員を問わず、どなたでもご参加いただけます。（1団体2名まで）

2018年
1/10(水)
午前10時～
11時30分

会場 東都生協
さんぼんすぎセンター
地下ホール
定員 50名 参加費無料 保育あり

【アクセス】 住所：東京都杉並区下高井戸5-4-42
・京王線「上北沢駅」北口下車、徒歩7分
・京王井の頭線「浜田山駅」南口よりバス すぎ丸さくら路線「旭橋」下車、徒歩5分
・京王線「下高井戸駅」南口よりバスすぎ丸 さくら路線「区営住宅前」下車、徒歩3分



2018年
1/12(金)
午前10時～
11時30分

会場 東京都 (セントラルプラザ内)
消費生活総合センター
16階 学習室A
定員 50名 参加費無料 保育なし

【アクセス】 住所：東京都新宿区神楽河岸1-1
・JR「飯田橋駅」西口、東京メトロ東西線・有楽町線・南北線「飯田橋駅」B2b出口、都営地下鉄大江戸線「飯田橋駅」B2b出口より徒歩3～5分

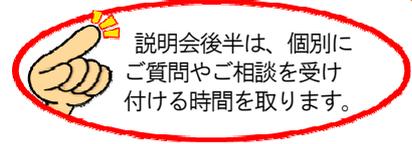


*印刷の関係で地図が不鮮明の場合は、お手数ですが東都生協のホームページよりご確認ください。

問い合わせ先

東都生協「未来につなぐ募金」助成担当事務局（組織運営部内） 担当：伊藤、大浦
電話：03-5374-4756
E-mail：kumikatsu@tohto.coop（電話受付：月曜日～金曜日 午前9時～午後4時）

事前説明会の参加にあたって



この事前説明会は、2018年2月12日（月）より募集を開始する東都生協「未来につなぐ募金」助成を受けて、貧困問題の解決に取り組んでいきたいと考えている、組合員が参加する地域の活動団体を対象に開催するものです。

応募条件や助成内容などに関する以下の留意点をご確認の上、お申し込み・ご参加いただきますようお願いいたします。なお、事前説明会に参加できない場合でも、助成申請のお申し込みはできます。

応募条件

東都生協の組合員が1名以上参加している団体（自主組織）で、地域の貧困問題の解決に取り組む団体。

応募期間

2018年2月12日（月）～3月16日（金）

助成内容

フードバンクや子ども食堂などの運営に要する食品・食材等を東都生協の商品で助成します。（助成上限等は募金状況に応じて変動する可能性があります。）

応募方法

応募に関する詳細情報（助成申請の手引きや申請書など）は、2/12～の応募開始と同時に案内チラシの配布・ホームページでの公開を予定しています。

お申込方法

★次の①～⑦の必要事項を添えてお申し込みください。

- ①企画名、②氏名、③組合員コード、④所属団体名、⑤参加人数（1団体につき2名まで）、⑥電話番号、⑦保育の有無（さんぽんすぎセンター会場のみ。1歳以上のお子さんが対象です。）

申込時にお子さんの年齢、人数、アレルギーの有無をお伝えください。

子ども定員は5名、保育の申込締切は1/4（木）です。申込締切・定員を超えた場合、お断りする場合があります。

★携帯電話からEメールで申し込む場合は、東都生協からの返信メールが受信できるよう、設定をご確認ください。

申込締切
1/5（金）

募金の活用例 ①

フードバンクへの商品提供

フードバンク(廃棄されてしまう食品を“銀行”のように貯めて、福祉施設や団体・個人に無償で届ける活動を行う団体)に対して、東都生協の取り扱う商品の中から必要とされる食品を提供します。

食品ロスの観点だけでなく、食に困っている人々の現状やニーズに則して本当に必要とされるもので、安全・安心で良質な東都生協の商品をフードバンクに提供することによって、人々の健康と地域の豊かな食生活を応援していきます。



募金の活用例 ②

地域の子ども食堂への商品提供

経済的な事情などにより、家庭で十分な食事がとれない、あるいは孤食の子どもたちに対し、地域の大人が無料もしくは安い金額で、手作りの温かい食事や居場所を提供する活動に必要とされる商品を提供します。



地域の中で子どもたちの生活や成長を見守り、支え、子どもの孤独感の緩和や安心感の創出につながる、福祉・助け合い活動を食の面から応援していきます。

募金の活用例 ③

商品受け取り場所までの運搬費の負担

募金を活用して提供する商品の受け渡し場所は、原則、東都生協の供給(配送)センターとなります。しかし、アクセスしにくい場所で活動している団体もあれば、車を使用しなければ商品を受け取りに来ることができない場合も想定されます。

そのため、商品の受け渡しに係る経費(ガソリン代、駐車場代、高速代、指定場所までの配送代など)も募金の使途対象とし、活動の継続性を支援するとともに、活動団体間の公平性を保っていきます。



お申し込みいただいた個人情報は、この企画において連絡が必要な場合のみ、使用いたします。